

鈴鹿国際大学紀要執筆要項

1) 原稿提出形式

原稿の執筆は、ワープロ（PC）を使用する。提出は使用機種名・ワードプロセッシングプログラム（Windows/Mac, Word/一太郎等）を明記したデジタル媒体（FD/CD/DVD/フラッシュメモリー等）又はEメールで所定のアドレス（kiyou@m.suzuka-iu.ac.jp）に添付送付する。いずれの場合にも、ハードコピー（プリントアウト）2部を併せて提出する。

2) 原稿の書式：和文原稿

- ・横書き，B5判用紙縦置き
- ・40字34行で印字する。
- ・天32mm，地23.9mm，左右に24.3mmの余白を残す。
- ・フォントはMS明朝体全角とする。
- ・ポイントは9ポイントとする。
- ・数字はアラビア数字半角を標準とする。

3) 原稿の書式：英文原稿

- ・B5判用紙縦置き
- ・天32mm，地23.9mm，左右に24.3mmの余白を残す。
- ・フォントはTimes New Romanの半角とする。
- ・ポイントは9ポイントとする。
- ・ダブルスペースでタイプ・印字する。

4) 原稿の長さ

- ・和文：原稿は図表を含み16,000字程度（図表は1枚400字として換算する）。
- ・英文：原稿は図表を含み4,400語程度（図表は1枚100語として換算する）。

5) 単位

- ・度量衡は原則として国際単位系（SI単位）を用いる。

6) 表題・著者名・所属・分野など

- ・和文，英文による表題・著者名・所属・分野を付ける。
- ・日本語の表題，著者名の下に，英語での表題（主題・副題），著者名を付ける。
- ・表題はMSゴシック14ポイント（副題は12ポイント）で，著者名は10.5ポイントとする。
- ・著者名には右肩に「*」を付すこと。
- ・著者名についた「*」は1ページ目の下2行を用い1行は本文との境界線に用い，2行目は日本語による著者所属，分野（英語による所属，分野）を付ける。また，執筆者が複数の場合には執筆者ごとに「*」「**」「***」・・・を付し，執筆者ごとに所属などを表記すること。

7) Abstract

- ・研究論文にはAbstractを付ける。
- ・本文の前に記載する。

- ・頭に「Abstract」と記す。
- ・左右の行端は、本文の左右行端からそれぞれ2字分さげること。
- ・ポイントは8ポイントとする。

8) キーワード

- ・日本語または英語によるキーワードを5語程度付けること。
- ・Abstractの下に記載する。
- ・和文では「キーワード」：日本語キーワード、・・・，
英文では Keywords：英語キーワード、・・・
の形式で記す。
- ・ポイントは8ポイントとする。

9) 本文の見出し

- ・本文の見出しはつぎのように統一する：
章・・・1. 2. 3. (数字は、全角ゴシック太字・10ポイント)
節・・・(1) (2) (3) (同、半角ゴシック太字・10ポイント)
項・・・1) 2) 3) (同、半角ゴシック太字・10ポイント)

10) 図・表・写真

- ・図および写真、表には記載順に図-1，表-1のように番号をつける。
- ・図および写真の場合は下に、表の場合には上に番号とタイトルを入れる。
- ・ポイント数などについては、図、表とのバランスを考えて執筆者が選択する。

11) 注および参考文献

- ・本文の後に、注、参考文献の順にまとめて記載する。
- ・注と文献リストを別にする。
- ・注は、本文中の該当箇所の右肩に上付き文で1)，2)，3) …の記号(半角)で示し、本文末に一括記載する。
- ・参考文献は、著者の姓のアルファベット順によって並べ、本文末に一括記載する。ただし、漢字表記の場合は、姓の五十音順に並べる。
- ・ポイントは8ポイントとする。

12) 記述表現の留意点

- ・文章表現は、現代かな使い、常用漢字使用の励行を原則とする。
- ・文脈の必要から常用漢字以外を使用するときはルビを付ける。ただし、引用箇条はこの限りでない。
- ・ローマ字表記はヘボン式とする。